<報道関係者各位>

2022年3月14日 すみだ北斎美術館

企画展開催のお知らせ

企画展「北斎花らんまん」

北斎や門人が描いた桜をはじめ、四季の花々が展示室を彩ります。

すみだ北斎美術館では 2022 年 3 月 15 日 (火) から 5 月 22 日 (日) まで「北斎花らんまん」展を開催いたします。



花は古くから人々に愛され、絵画の主題としても数多く取り上げられてきました。本展では、 北斎やその門人たちの作品から、桜をはじめとした様々な花の作品約 100 点を展観します。花見 の対象とされる花、物語に登場する花、意匠として着物や道具に施される花等、生活のあらゆる 場面で愛でられてきた花に関する作品をご紹介します。描かれた花々を通じて、花を愛でる文化 に親しみを感じていただけましたら幸いです。

■展示構成

1 章 春の到来 早春の花々/2 章 桜 春爛漫/3 章 色とりどりの四季の花/4 章 暮らしを 彩る花の意匠

■本展の見どころ

◎ 描かれた花のユートピア

現実では一度に楽しむことが難しい四季の花々。本展では北斎や門人の筆により、桜をはじめ、梅、朝顔、桔梗、椿など前期・後期あわせて約 35 種の描かれた花を紹介。展示室に花のユートピアが広がります。

◎ 北斎や門人の観察眼

北斎や門人の作品では、花弁や葉の質感の表現や、花脈や葉脈までも緻密に描き込まれています。ディテールの描写や、一瞬を捉える観察眼にご注目ください。



報道関係の お問い合わせ先 すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ

野田 / 中原 / 林 (アシスタント高橋)

TEL: 03-6658-8991 / FAX: 03-6658-8992

Email: hm-pr@hokusai-museum.jp



1章 春の到来 早春の花々

厳しい冬が過ぎ、植物が芽吹く頃に咲き出す花々は、おめでたいものの象徴として喜ばれまし た。1章では、辛夷(こぶし)や梅、木蓮など、春の訪れを告げ、人々に喜びをもたらす早春の 花々が描かれた作品をご紹介します。

梅 開花時期:1月~3月





存斎光一「花咲か爺さん」すみだ北斎美術館蔵(前期)

灰を撒く花咲か爺さんの姿が描かれた作品です。花咲か爺さんといえば桜を想像しますが、本図は 梅の花が描かれ、灰を撒かれた下側の枝から徐々に開花しています。画面左上には、梅の香りや春の 訪れへの期待が詠まれた狂歌が添えられています。

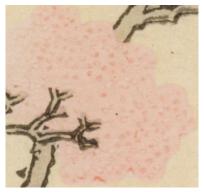
本図は浮世絵版画の中でも商業目的で版元から刊行されたものではなく、プライベートで配るため、 仲間内で費用を出し合って発注されたもので、摺物(すりもの)と呼ばれています。

2章 桜 春爛漫

古くから人気があった桜は、数ある花の中でもとりわけ多く、絵の題材になっています。江戸 時代には、様々な花見の名所が新たに作られ、北斎の作品にも桜を楽しむ人々の様子が多く描か れています。2章では、浮世絵版画や肉筆画から、花見の名所や物語を紹介いたします。

桜 開花時期:3月~5月





葛飾北斎「冨嶽三十六景 東海道品川御殿山ノ不二」すみだ北斎美術館蔵(前期)

現在の品川区北品川に位置した御殿山は、享保年間(1716~36)以降、江戸屈指の花見の名所でした。北斎の代表作「冨嶽三十六景」にも、花見シーズンの御殿山が描かれています。枝いっぱいに咲く桜は、薄い紅をぼかして摺った後に、沢山の丸い点を空摺(*1)で施しています。ござを広げて酒宴に興じる人々、子供を背負って歩く人々等も描写され、様々な花見の楽しみ方がうかがえます。

*1 空摺(からずり):浮世絵版画で、色を転写せず、凸凹をつけることのみで表す摺りの技法のこと。







蹄斎北馬「朝妻舟」すみだ北斎美術館蔵(前期)

本図は、北斎の門人の一人・蹄斎北馬(ていさいほくば)が描いた肉筆画(*2)です。「朝妻舟」と名のつく作品に決まって描かれる柳や白拍子姿の遊女のほかに、本作には満開の山桜が描かれています。花弁が舞い落ちる中、水面に映る遊女の顔は、目のまわりに化粧をしているようです。山桜は日本では古くから自生し、開花とともに葉をつけることで知られ、絵画にも描かれてきました。本図は花弁や葉の一枚一枚、蕾が繊細に描写されています。

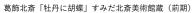
*2 肉筆画:浮世絵の中でも版画とは異なり、絵師が絵筆で直接紙や絹に描いた作品のこと。

3章 色とりどりの四季の花

3 章では、現代の四季感に基づき、春 (3 月~5 月)、夏 (6 月~8 月)、秋 (9 月~11 月)、 冬 (12 月~2 月) に区分し、季節の花々が描かれた作品をご紹介いたします。

牡丹 開花時期:4月~6月







「冨嶽三十六景」や「諸国瀧廻り」と同じ版元である西村屋与八から出版された、北斎の大判 花鳥画シリーズの一図です。強い風に揺られる牡丹と蝶の一瞬が見事に描写されています。ピン ク色の牡丹は、花弁の付け根から網目状に広がる花脈が精緻に描き込まれています。

桔梗 開花時期:6月~10月









葛飾北斎「桔梗にとんぼ」すみだ北斎美術館蔵(後期)

こちらも北斎の大判花鳥画シリーズの一図です。赤みがかった色の一重の桔梗、多重咲きの桔梗、青い斑入りの桔梗の3種類が描かれてます。咲いている花のほか、まだ固く閉じている蕾、ほころぶ蕾も描かれています。桔梗の上を飛ぶトンボは、翅の脈や翅の先の黒い模様の縁紋まで細やかに描写されています。

椿 開花時期:11月~2月





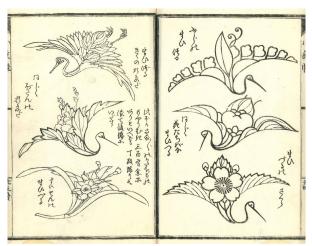
柳々居辰斎「五色之内 赤絵南京」すみだ北斎美術館蔵(後期)

赤色を主題にした摺物で、北斎の門人の一人・柳々居辰斎(りゅうりゅうきょしんさい)の絵に 狂歌が添えられています。赤絵南京(あかえなんきん)と呼ばれる、白磁に赤色を基調として絵 付された皿を中心に、手前に酒器、奥に紅白の椿の枝が描かれています。葉の緑色が、赤絵と椿 の花の赤色を引き立たせています。

4章 暮らしを彩る花の意匠

古くから花は意匠化され、着物や道具など、生活の中の身近なものの柄や装飾にもよく見られます。4章では、北斎と門人が様々な花を意匠化して描いた作品をご紹介します。

意匠化された花



葛飾北斎『新形小紋帳』すみだ北斎美術館蔵 (通期)

『新形小紋帳』は、北斎がデザインした小紋染の模様を収めた図案集です。このページでは、花が鶴の形にデザインされおり、それぞれ名前や説明が記されています。右上から藤の舞鶴、花橘舞鶴(右中)、舞鶴の桜(右下)、舞鶴菊の折枝(左上)、舞鶴牡丹の折枝(左中)、水仙の舞鶴(左下)です。

開催概要

展 覧 会 名	北斎花らんまん
会 期	2022年3月15日(火)~5月22日(日)※前後期で一部展示替えを予定
	前期 3月15日(火)~4月17日(日)、後期 4月19日(火)~5月22日(日)
休 館 日	毎週月曜日 ※開館:3月21日(月・祝)、休館:3月22日(火)
開館時間	9:30~17:30 (入館は 17:00 まで)
主 催	墨田区・すみだ北斎美術館
お問い合わせ	03-6658-8936 (9:30~17:30 ※休館日を除く)
公式サイト	https://hokusai-museum.jp/hanaranman/

- ●新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のため、会期・開館時間・観覧料・イベント・講演会の開催など変更、中止の可能性がございます。
- ●最新の状況は、すみだ北斎美術館公式ホームページにて最新情報をご確認ください。

■企画展「北斎花らんまん」観覧料

	一般	高校生 大学生	65 歳以上	中学生	障がい者	小学生以下
個人	1,000 円	700 円	700 円	300 円	300 円	無料
団体	800 ∏	560 円	560-円	240 円	240 円	無料

- ●本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、AURORA (常設展示室) をはじめ全ての展示をご覧になれます。
- ●団体でのご来館は、当面の間、受付を行いません。

■オリジナルリーフレット

『北斎花らんまん』リーフレットを、1階ミュージアムショップにて3月15日(火)から発売します。北斎や門人が描いた四季の花々や、意匠化された花の作品をオールカラーで紹介します。

タ	1	۲	ル	『北斎花らんまん』リーフレット
価			格	税込 300 円
発	壳	5	日	3月15日(火)
判	릴 / ペ	– :	ジ数	A4 縦長 8 ページ



■関連イベント|お持ち帰りワークショップ「北斎の花でデザインしてみよう」

「北斎花らんまん」展会期中、お持ち帰りワークショップ「北斎の花でデザインしてみよう」を開催します。本展 4 章「暮らしを彩る花の意匠」に展示している『北斎漫画』、『北斎模様画譜』、『新形小紋帳』から、北斎が描いた花や紋を抜き出したワークシートを 3 階ホワイエにて配布します。観覧後にワークシートを持ち帰り、切り貼りや写し描きをしていろいろな花を組み合わせ、オリジナルのデザインに挑戦してください。

開	催	期	間	2022年3月15日(火)~5月22日(日)	
申	込	方	法	不要・当日自由参加	
料			金	無料(ただし、観覧券または、年間パスポートが必要です)	
四	布	場	所	3階ホワイエ(HP でもダウンロード可能)	
					13



<ご参加のお客様へのお願い>

- ・新型コロナウイルス感染防止対策のため、アルコール消毒を設置しています。ワークシート を取る前にアルコール消毒をお願い致します。
- ※この他関連イベントにつきましては、すみだ北斎美術館公式 HP をご確認ください。

□常設展プラス|隅田川両岸景色図巻(複製画)と北斎漫画

- ·会期 開催中~6月12日(日)
- ・場所 4階企画展示室

北斎の肉筆画の中で最長とされている「隅田川両岸景色図巻」。全長約7mに及ぶ本作の複製画を展示、その全貌を実物大でご覧いただけます。また、〈『北斎漫画』ほか立ち読みコーナー〉では、北斎の絵手本『北斎漫画』、『一筆画譜』や『をどり独稽古』などから数冊ずつ実物大高精細レプリカを展示し、毎日入れ替えを行います。

<ご鑑賞時のお願い>

4階の常設展プラスにはお客様が北斎の絵手本のレプリカを手に取って読むことができる<『北 斎漫画』ほか立読みコーナー>があります。新型コロナウイルス感染防止対策のため、レプリカ 作品を毎日交換していますが、ご観覧の前と後には消毒液にて手指の消毒をお願い致します。

今後の企画展のお知らせ

展 覧 会 名	北斎 百鬼見参		
A #0	2022 年 6 月 21 日 (火) ~8 月 28 日 (日) ※前後期で一部展示替えを予定		
会 期	前期 6月21日(火)~7月24日(日)、後期 7月26日(火)~8月28日(日)		
休 館 日	毎週月曜日 ※開館:7月18日(月・祝)、休館:7月19日(火)		
開館時間	9:30~17:30 (入館は 17:00 まで)		
 主 催	墨田区・すみだ北斎美術館		

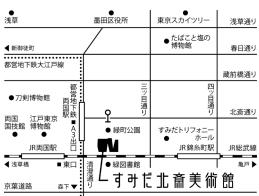
古来、日本人は鬼の存在を信じ、暮らしにも取り入れ、ともに生きてきました。神話・伝説、芸能、小説、マンガ、アニメ、ゲームに至るまで、鬼が登場する創作物は数多く、それだけ、鬼は日本人の心に深く根ざし、その精神世界の形成に大きな影響を与えています。そして、古典や芸能、また新たに江戸時代に起こった読本などを題材とする浮世絵にも、鬼は多く登場します。

本展覧会では、人気の錦絵「百物語」や版本などから鬼に関連する作品を紹介し、鬼才・北斎がどのように鬼を捉え、表現してきたかに迫ります。また、当館初公開の貴重な北斎の肉筆画も展示予定です。北斎が描くさまざまな鬼が展覧会に集結する迫力ある様をぜひお楽しみください。

すみだ北斎美術館 The Sumida Hokusai Museum

9:30~17:30 (入館は 17:00 まで) 館 毎週月曜日(月曜が祝日または振替休日の場合はその翌平日)、 休 館 日 年末年始(12月29日~1月1日) 〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2 所 在 抽 (9:30~17:30 ※休館日を除く) 03-6658-8936 お 合 わ せ https://hokusai-museum.jp/ ۲ https://twitter.com/HokusaiMuseum/ https://www.facebook.com/THE.SUMIDA.HOKUSAI.MUSEUM/ https://www.youtube.com/channel/UC2ywKxcxhYowjfoAk2LflRg b e 都営地下鉄大江戸線「両国駅」A3 出口より徒歩5分 JR 総武線「両国駅」東口より徒歩9分 セ JR 総武線「錦糸町駅」北口より墨田区内循環バスで5分







報道関係の お問い合わせ先 すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ

野田/中原/林 (アシスタント高橋)

TEL: 03-6658-8991 / FAX: 03-6658-8992

Email: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

| 入館方法のご案内 |

当館では、新型コロナウイルス感染症の感染・拡散を防止し、皆さまに安心してご鑑賞いただくために、以下のお願いをしております。ご来館前に必ずご一読いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。なお、当館では入館のための日時指定予約を行っておりません。ご希望の日時にお越しください。館内・展示室内・ミュージアムショップ内が混雑し、一定の人数を超えた場合は入場制限を行う場合がありますので、ご了承ください。

なお、今後予告なしに展覧会の会期・開館時間・観覧料・イベント・講演会の開催など変更、中止の可能性がございます。最新の情報を当館ホームページでご確認のうえ、ご来館ください。

ご来館のお客様へのお願い

(2021年11月2日更新)

- 発熱及び体調不良の方は、来館自粛のほどお願いいたします。
- → 入館前の検温と手指消毒

入館時に検温と手指の消毒をお願いしています。

チケットカウンターに自動検温/手指消毒器(非接触型)を設置しています。検温の結果 37.5℃以上の発熱が確認された場合は、入館をご遠慮ください。咳・のどの痛み・発熱・倦 怠感などの症状があるお客様は入館をお控えください。消毒のご協力が難しい際は、入館を ご遠慮いただく場合がございます。

ミュージアムショップ入口に手指消毒液を設置しています。入店時には再度手指の消毒をお願いしています。

<ご観覧前/後>

4階の AURORA(常設展示室)にはタッチパネルがあります。ご観覧前/後には消毒液にて手指の消毒をお願いいたします。

▼ マスク着用

館内ではマスクご着用を必ずお願いいたします。咳やくしゃみをされる際には「咳エチケット」(マスク、ハンカチ、ティッシュなどで口をしっかり覆う)にご協力ください。

● 観覧券保管

入館日の確定のため、観覧券半券はお持ち帰りの上、保管をお願いいたします。

● 入場制限

館内滞在人数によっては、入館制限、展示室の入場制限、ミュージアムショップの入場制限を実施することがあります。

● エレベーター定員

エレベーターの定員を3名に制限しております。ご家族や介助者の方は同時にご利用いただけます。

- 展示室、ミュージアムショップをはじめ、館内での会話はお控えください。
- 展示室内の展示ケースにはお手を触れないでください。

すみだ北斎美術館の感染予防対策 |

- お客様がご利用になる手摺り、エレベーター操作ボタン、洗面所の取手/カラン等は1日4 回の消毒作業を実施しております。展示ケース等の一部には水分やアルコールが使えないた め乾拭きのみ実施しております。
- お客様と接する当館スタッフはマスクを着用しております。 受付・ショップにウイルス飛沫予防のパネルを設置しております。
- 良好な館内環境を保つため、入館制限やお声掛けを行う場合がございます。
- 新規の団体ご予約は当面の間中止いたします。

北斎花らんまん 展覧会広報用 作品画像請求紙

画像のお申込みにあたり以下の注意事項を必ずご一読いただき、全て遵守をお願いいたします。

- ≪ 画像貸出に関して注意事項 ≫
- ・画像を使用の際は、クレジット全文(作家名・作品名・所蔵先・展示期間)の表記が必須となります。
- ・画像は記事などで本展をご紹介いただける場合に限りご利用いただけます。 本展の広報に関わらない出版物や映像への使用・転載、商業利用はできません。
- ・画像の複製・貸与・頒布・配布・販売などはお断りいたします。
- ・画像は全図でご掲載ください(部分図のみの使用は不可となります)。
- ご使用後は、画像データの破棄をお願いいたします。
- ・展示作品は都合により変更することがあります。

ご希望の番号にチェックをお願いいたします。

- □1. 存斎光一「花咲か爺さん」すみだ北斎美術館蔵(前期)
- □2. 葛飾北斎「冨嶽三十六景 東海道品川御殿山ノ不二| すみだ北斎美術館蔵(前期)
- □3. 蹄斎北馬「朝妻舟」すみだ北斎美術館蔵(前期)
- □4. 葛飾北斎「牡丹に胡蝶」すみだ北斎美術館蔵(前期)
- □5. 葛飾北斎「桔梗にとんぼ」すみだ北斎美術館蔵(後期)
- □6. 柳々居辰斎「五色之内 赤絵南京」すみだ北斎美術館蔵(後期)
- □7. 葛飾北斎『新形小紋帳』すみだ北斎美術館蔵(通期)

貴社名						
貴媒体名						
部署名	(役職名)		
ご芳名						
ご連絡先 TEL	FAX		E-mail			
ご掲載・放送予定	月	B				
備考 ※ご要望などございましたらご記入下さい。						



報道関係の お問い合わせ先 すみだ北斎美術館 広報・プロモーショングループ 野田 / 中原 / 林 (アシスタント高橋)

TEL: 03-6658-8991 / FAX: 03-6658-8992

Email: hm-pr@hokusai-museum.jp

